

請願第1号

請願人

紹介議員 久保 貴洋

田沼角町公衆便所改修に関する請願

1 請願の要旨

一瓶塚稻荷神社の側にある田沼角町公衆便所は、汲み取り式で悪臭が酷く且つ建物の老朽化が進み不潔であるため、環境衛生上並びに観光振興の面からも早急な改修が必要であると思われます。

2 請願の理由

田沼角町公衆便所の側にある一瓶塚稻荷神社は今から約800年前、当時の唐沢山城主であった佐野成俊公が唐沢山城後口の堅めとして犬伏富士村から今の地に遷座したものであると言われている由緒ある神社で、本殿壁面に施された彫刻並びに天明鋳物師により鋳造された銅製鳥居(昭和20年文部省から重要美術品に認定される。)は美術的にも高い評価を受けており、これ等の見学を目的に訪れる人も少なくありません。又、例年3月に開催される初午祭には県内外から約5万人の参拝客が訪れるなど田沼地区観光振興の中心的な役割を担っております。

しかし、前述のとおり公衆便所が来訪者に悪いイメージを与えているため、観光振興、商店街活性化、環境衛生の面からも早急な改修が必要であると思ひます。尚、近辺には駅前公衆便所、仲町公衆便所がありますが下記理由により併設改修を請願いたします。

①田沼角町公衆便所利用者は主に一瓶塚稻荷神社参拝者、角町商店街買い物客等を中心に、目的があつて来ている人が多いので、近辺の公衆便所に迂回して頂くのは、特に観光目的で来ている地理に不慣れな地域外からの来訪者にとっては不便でありイメージダウンに繋がるおそれがあります。

②添付写真にもある通りコンクリート床に糞尿等が浸みこんで汚れており且つ悪臭のため、女子用・男子用とも高窓が常時開け放たれている状態であり使用をためらう人が多くおります。(これが、利用者の減少要因にも繋がっているものと思われます。)

※平成29年3月の初午祭でも使用をためらった人から苦情の申し出が神社側に数件寄せられております。

③平成29年11月に「第24回全国山城サミット」が佐野市で開催されますが、開催に伴い唐沢山城主である佐野氏と縁の深い一瓶塚稻荷神社にも今後、観光客の増加が予想されます。

又、田沼角町公衆便所近辺は相当以前に公共下水道が整備されておりますが、下水道法では供用開始後、汲み取り式トイレの場合は3年以内に改造しなければならないと定められております。(下水道法第10条および第11条の3)特に指導的立場にある公共団体は一般住民に率先して公共下水道に接続すべきではないかと思料いたします。

以上、今後も佐野市が掲げる「観光立市」に向けて住民が一体となって地域の活性化に取り組んで参る所存でございますので、是非、本件ご承認下さいますよう宜しくお願いいたします。

○当該物件写真

